

# 生物基礎

## 【はじめに】

生命科学はミクロレベルからマクロレベルまで様々な視点を持ち、また、学問として急速かつ継続して進歩している分野です。この1年間、「生物基礎」では、生物に共通する特徴から始まり、生物の多様性と生態系、ヒトの体の仕組みなど、幅広い領域について学んでいきます。そして、生物基礎における学びは、皆さん自身に対する学びです。地球という生態系の一員として、最新の科学や人間の活動と環境との関連、そして自分自身の健康に対する認識を深めていってください。

## 【授業を受けるにあたって】

- 疑問を探しながら授業に臨みましょう。学んだことを固定の知識として捉えることなく、疑問の余地がないかを意識的に考え、自分なりに答えや仮説を考えてみてください。
- 実験・観察では、先入観にとらわれず、事実をありのままに捉えるよう意識しましょう。また、得られた事実について積極的に考え、調べ、表現しましょう。
- 予習よりも復習に力を入れましょう。授業の内容を振り返るとともに、資料集や問題集を用いて、発展的な情報収集、及び思考・表現に取り組んでみてください。
- プリントやレポートを教材として用います。各自しっかりと管理してください。

## 【観点別評価の方法】

- 知識・技能の習得（体系化、汎用性）

実験・観察の様子やレポート、定期考査、小テスト等によって判断します。

- 思考力・判断力・表現力の育成（思考力、判断力、表現力）

授業における発表やディスカッションの内容、実験・観察のレポート、定期考査、小テスト等によって判断します。

- 主体的に学習に取り組む態度（実践力、協働力）

授業における取組の様子、実験・観察のレポート、定期考査等によって判断します。

## 【教材】

教科書：啓林館「i 版 生物基礎」

補助教材：第一学習社「新課程二訂版 スクエア最新図説生物」

啓林館「ESSENCE NOTE 生物基礎」

その他：Surface 等、個人端末